秘在寺

令和２年３月５日発行

彼岸だより

冷泉山　秘在禅寺
住職　武山清堂　　副住職　武山一堂
〒421-2105　静岡市葵区郷島 562
電話　054-294-0542
Fax　054-294-0709
info@hizaiji.net
http://hizaiji.net/　　（秘在寺）
http://ashita-an.hizaiji.net/（あした庵）

◆お彼岸

この冬は暖かでしたね。以前はこの時季になると毎日のように「異常乾燥注意報」という言葉が聞かれました。今はこういう風にはいわないようですが、その名の通り、乾燥した晴天が続いたものです。今年は暖かくて過ごしやすかった一面雨も多く、いつもの冬と何か違う、これでいいのかな？と皆さん感じられたことと思います。

「逃げていく」という言い回しの通り、閏年の今年でさえもあっと言う間に二月が過ぎてお彼岸が近づきました。ご先祖様が待っています。どうぞお墓参りにお出かけ下さい。

◆春彼岸法話の会　中止のお知らせ

毎年恒例の春彼岸法話の集いは新型肺炎による催し物自粛に従い、中止となりました。この席で米寿と成人の方のお祝いを授与していましたが、お施餓鬼の時に授与式を行います。該当の皆様、先に延びてしまって申し訳ありませんが、是非ご出席のうえ、お受け取り下さい。

米寿　六名
成人　二名

◆永代供養墓　春彼岸法要

三月二十日（金・祝）　午前十時より

◆住職交代のご挨拶

いつも秘在寺の護持運営にご協力をいただきありがとうございます。副住職の武山一堂（たけやまいっどう）です。

昨年よりお施餓鬼等でご報告を致しましたように、この四月一日より現住職武山清堂と交代し新しい住職に就任させていただきます。住職就任にあたり、これからの秘在寺・菜流寺の寺院運営についてお伝えしたいと思います。

昨今、マスメディアでは寺離れや仏教離れが加速していると盛んに叫ばれていますが、この安倍奥は比較的小規模な寺院が多く、檀家様の顔がわかる距離が近い寺院で、まだまだ温かく皆様に見守っていただいていると日々感じています。

しかしながら同時に時代が急速に変化し続けている事もまた事実です。この秘在寺・菜流寺の利点を生かして古くから続く「お寺らしさ」を守りつつ、それ以上に「今ここ」に合わせて対応のできる柔軟で新しい運営をしていきたいと考えています。

また以前から申し上げていることですが、葬儀や法事などの仏教儀式だけではなく、常日頃から人が集まる場所として、檀家様、そして地域の皆様に求められる寺院・僧侶でありたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

◆責任役員交代のお知らせ

長年秘在寺の責任役員をお願いしました、三名の皆様はこの四月の住職交代とともに退任、新しく三名の方に就任していただく事になりました。

旧責任役員の皆様には長い間大変お世話になりました。任期中には本堂建設という大きい事業もありましたし、そらの道まつりその他の活動の立ち上げや継続にお力添えをいただきました。秘在寺がここまで発展できたのも皆様の熱意と包容力の賜物です。心より感謝お礼申し上げます。

新責任役員様には新住職を支え、秘在寺の護持運営にお力添えをいただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

◆道路工事のお知らせ

郷島バス停から上ってくる道の拡幅工事が始まりました。原則として工事は月曜から金曜で週末は休み、平日でも昼の十二時～一時は通行可能です。平日にお参りの方は、郷島宮前からの道をご利用下さい。なお、墓地移設工事中ですので墓地近くの農道には業者の車が作業をしています。そちらへの駐車はご遠慮下さい。

◆墓地移設事業

年明けから松下土木様による工事が始まり、一月十九日には閉眼供養を行いました。

前日の雨は止んだのですが、青空が広がったのは朝のわずかな間だけで、式典の時には曇り空、会場となった旧本堂跡地は大きい榧の木があるため日が当たりません。ご参加の皆様、寒い中をありがとうございました。

読経後焼香、移転する皆様の名前が一軒ずつ住職によって読み上げられました。その後、お墓にのぼりそれぞれのお墓の前で読経し、骨壺が取り出されました。骨壺は写真の建物に安置し、工事期間中に法事をなさる場合にはここで読経を致します。永代供養の方は、この日のうちにお骨を納めました。

墓地に向かうモノラックが設置されたので、お墓参りの皆様にはご迷惑をおかけしますがご了解下さい。

三月中には墓石をおろす作業が終わり、三月中旬から下旬にかけて、新墓地の舗装、フェンス等を設置する予定です。その後保健所の検査を経て、いよいよ新しい墓石設置の作業に入ります。山上の墓地のモノラックも三月末以降に撤去する予定です。

◆護持会費・付け届け改訂のお願い

別紙に詳しく書いてありますが、この度護持会費・付け届け金額の改定と納入方法の変更をお願いすることになりました。ご協力を心からお願い申しあげます。

◆花まつり

四月八日はお釈迦様のお生まれになった日、今年も花御堂を飾ります。八～十日の間にお参り下さい。

八日にはしずはた子ども園の皆さんがお参りに来てくれます。

◆お年忌（法事）の心得

持ち物　本堂に　**お花・供物・お布施**

お花は花瓶一本分。お供物は特に決まりはありませんが、お菓子と果物など、亡き方の喜びそうな物をお供えしましょう。僧侶へのお礼は「お布施」と表書きし、供物と一緒にお供えください。

準備の都合上、施主様は十五分前にはお越しください。

持ち物　お墓に　**お花、線香、水**

お花は新しい物をお供えしましょう。水は浄めるためのものです。花瓶・水鉢を洗って中に入れ、石塔に水をかけて浄めましょう。

お線香は火をつけてお参りの方一人一人に渡しましょう。線香を立てたら手を合わせて礼拝します。終了後、前回の塔婆が残っていたら塔婆入れかごに下げましょう。

お年忌は亡き方（先祖）に感謝の気持ちを表す場であると同時に、家族縁者の絆を深める仏教行事でもあります。なるべく親子家族全員がそろう日を選んで日時を決め、終了後は簡単で良いので歓談の場をもうけましょう。

解散する前には次の年忌の年を確認し、再会を誓いましょう。

◆延命十句観音経

秘在寺や菜流寺での葬儀や法事の時に必ず読むお経に「延命十句観音経」があります。葬儀の時にお配りする紫色のカードのような小さな経本（きょうほん）に書いてあります。円覚寺派管長、横田南嶺老師様の「祈りの延命十句観音経」という本に、意訳が書いてあったのでご紹介します。

延命十句観音経（えんめいじっくかんのんぎょう）

（繰返す）

かん ぜー おん	観 世 音	観世音菩薩
なー むー ぶつ	南 無 仏	仏に南無（帰依）したてまつる
よー ぶつ うー いん	與 仏 有 因	仏と因あり
よー ぶつ うー えん	與 仏 有 縁	仏と縁あり
ぶっ ぽう そう えん	仏 法 僧 縁	仏と法と僧との縁により
じょう らく がー じょう	常 楽 我 浄	常・楽・我・浄の四徳を得ん
ちょう ねん かん ぜー おん	朝 念 観 世 音	朝な朝なに観世音を念じ
ぼー ねん かん ぜー おん	暮 念 観 世 音	夕な夕なに観世音を念じ
ねん ねん じゅう しん きー	念 念 従 心 起	念々、心より起こり
ねん ねん ふー りー しん	念 念 不 離 心	念々、心を離れず

人の苦しみを救おうとなさる
その心こそ仏さまのみ心であり
私たちのよりどころです
この仏さまの心が
私たちの持って生まれた本心であり
さまざまなご縁にめぐまれて
この心に気がつくことができます。
仏さまと　仏さまの教えと
教えを共に学ぶ仲間とによって
わたしたちはいつの世にあっても
変わることのない思いやりの心を知り
苦しみ多い中にあって
人の為に尽くす楽しみを知り
この慈悲の心を持って生きることが
本当の自分であり
汚れ多き世の中で
清らかな道であると知りました
朝に観音様を念じ
夕べに観音様を念じ
一念一念　何をするにつけても
この思いやりの心から行い
一念一念　何をするにつけても
観音様の心から離れません

秘在寺ご本尊
十一面観音

「い」はいのちの力、生命力、「のり」は宣言を意味しています。だから「いのり」はいのちの宣言です。人生にはいろいろな悩みや難問が待ち受けています。そのように苦しいとき、人は「めげずに生きるぞ」と宣言する、それが祈りです。そうすると祈る人の心が活性化していき、いきいきと暮らしていけます。変えられるのはお互いの心です。

横田南嶺著「祈りの延命十句観音経」より

この短いお経を繰り返し唱えると、心が穏やかになってきます。また短いので覚えるのも楽です。いつでもどこでも唱えられるようにしましょう。

聖観音↓

◆　過ぎた冬　そして春

暖かくなると寒かったときのことは忘れてしまいますが・・・・

墓地の参道の脇に、秋明菊が一輪咲いていました。撮影したのは大晦日の日。秋明菊は池の周りにたくさん咲いていますが、十月末が盛りでした。まるでドライフラワーのようにいつまでも咲いていた一輪、印象に残りました。

秘在寺の境内には紅梅・白梅・しだれ梅などが咲きます。永代供養墓横の紅梅は八重で、濃いピンク色をしているので、満開になると木一面赤く見えます。花の咲くのは一番早く、毎年暮れのうちに咲き始めるので門松に飾ります。しだれ梅はかわいいピンク色で「乙女」という名を連想するね、と言ったのはお茶の稽古をする「季節を楽しむ会」のメンバーです。

梅の後は桜、これは現在工事中の道の脇に大倉十郎さんが植えてくれた河津桜です。二月中旬に満開でした。

二月にはクリスマスローズが花をつけました。暮れのうちから日本水仙が咲いていましたが、例年よりかなり早く他の水仙も咲き始めました。春の訪れが楽しみです。

暮れに撮影しましたが、どのお墓もきれいに掃除されお花が入っています。ご先祖様もきっと喜んでいることでしょう。こうして見ていると自分の先祖だけでなく、同じ墓地に眠るすべての人たちに親しみを感じます。

◆　新型肺炎による催し物自粛

二月下旬から新型肺炎の拡大防止のためイベントなどの自粛が始まりました。寺院関係でも講習会やイベントなど様々な行事の中止の情報が入ってきました。お彼岸の法話会は実施されるのか？市仏教会の花まつりも開催されるのだろうか？など連絡を待っていました。結局安倍花園協議会、お彼岸の法話会は中止となりました。仏教会の花まつりは三月五日の理事会で検討、四月十二日秘在寺で開催予定のコンサート「シフクノトキ」は様子見状態です。この彼岸だよりに法話会や仏教会花まつりのお誘いの文章を掲載していたのですが、配付直前にそれらはカット、そしてこの文章を書いています。お彼岸の法話会は講師が「昨年大晦日生放送のぶっちゃけ寺スペシャル」の出演者で、著書も四冊という布教師さんでしたので楽しみにしていました。とても残念です。仏教会の花まつりは「南直哉師」の講演と三重県の和尚さんたちの太鼓演奏が予定されていたのでこれも楽しみにしていたのですが、現状では中止の公算が大きいようです。既にチラシを配付してあるので、行く予定であった方は、開催されるかどうか秘在寺にお問い合わせ下さい。

なお、秘在寺のヨガ教室、お菓子教室、御詠歌、写経、季節を楽しむ会の活動は平常どおり行っています。